

社会貢献活動全体像

<テーマ>

次世代を育む環境づくりと人づくり

<活動方針>

- ・次世代の育成に役立つ活動を行います。
- ・地域の社会・文化の発展に貢献することを目指した活動を行います。
- ・持続可能な社会に向けて、環境を守り育てる活動を行います。
- ・社会的支援として、バリアフリー社会を推進する活動を行います。
- ・花王の持つ資源を有効に活かせる活動を行います。
- ・一人ひとりの社員が良き市民として、社会的活動に参加できるような風土をつくります。

<全体像>

次世代を育む 環境づくりと人づくり

より良い環境を次世代に引き継ぐために、環境保全のみならず環境を守り育てる人づくりを両輪で推進します。

未来を担う子どもたちのために、花王のリソースや強みを活かした活動を推進します。

多様なコミュニティと共により良い社会を築くために、地域社会やNPO・NGOと連携した活動を推進します。

環 境

教 育

コミュニティ

社員参加型の活動

メセナ支援

公益財団法人 花王芸術・科学財団

花王芸術・科学財団は、芸術文化と科学技術への助成及び研究者の顕彰等を通じて、日本の芸術文化と科学技術の振興及び発展向上に寄与することを目的としています。

<http://www.kao-foundation.or.jp/>

1. 「環境」の活動

「環境」の活動として、「花王・みんなの森づくり活動」「花王・みんなの森の応援団」「タイ北部“FURUSATO”環境保全プロジェクト」を展開しています。また、被災地支援となる社員参加プログラムとして「東日本グリーン復興プロジェクト」も実施しました。

花王・みんなの森づくり活動

緑豊かな環境づくりと、その環境を次世代に引き継ぐための環境を守り育てる人づくりを行なうプログラムで、“社会といっしょに eco”の柱となる活動です。

全国から森づくりや環境教育に取り組む NPO・市民団体を公募し、「森づくり分野」と「環境教育分野」合わせて、毎年 20 件程度を選定し、3 年間継続して支援します。支援先には、花王からの助成金を活用していただくほか、支援先同士や花王との交流の機会を設け、活動のさらなる広がりを支援します。

プログラムは、公益財団法人都市緑化機構と協働で運営し、2000 年から 2014 年に支援した団体数は累計で 391 となりました。これは、都道府県が把握する森づくり団体数約 3,000 の 1 割を超えています。また、環境保全活動を通じて、現代の地域社会の抱える様々な課題を解決し、地域のより良いコミュニティ形成にも寄与しています。

<2014 年の活動>

- ・17 団体の支援を新たに開始
- ・2013 年度に支援を開始した 16 団体にヒアリングを実施、活動状況を確認した上で継続助成



タイ北部“FURUSATO”環境保全プロジェクト

タイ北部における急激な森林減少・破壊と、それが引き起こす水害・煙害等の環境問題の改善をめざし、海外でのいっしょに eco の柱となる活動として展開しています。

タイ北部チェンライ県チェンコン郡で、2012 年からの 5 年間で計 35ha に在来種を植林し、同時に環境教育を実施して環境を守り育てる人材の育成を行ないます。プログラムは公益財団法人オイスカ、オイスカタイランドとの協働で、植林地の日々の管理保全是地域住民の手で継続して行なわれ、雇用も生み出しています。これまでに累計 21ha に在来種 25,600 本を植林しました。

過去には山火事による被害もありましたが、地域の方の「自分たちの森」という意識が深まり、現在では活着率が 80%を超える場所もあるなど、順調に生育しています。



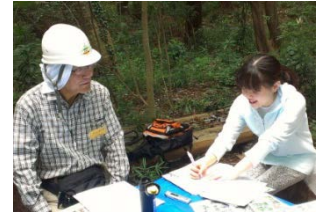
<2014年の活動>

- ・7haに8,000本を植林
- ・2014年8月8日に植林イベントを実施。花王グループ社員含め700名が参加して7種1,500本を植林
- ・計画通り植林と環境教育を実施。木々の活着率も目標の70%を超え、適切に管理されている

その他の活動（環境）

<花王・みんなの森の応援団>

- 公募で選ばれた大学生が、森づくり活動を行うNPOや市民団体の現場を取材・記事を作成し、WEB上で発信。記事執筆にあたり、記事の書き方などの研修の機会を提供
- 大学生の人材育成、森づくり活動の意義を伝えることでNPO等の支援の輪の拡大をめざす活動
- 2006年～累計：86名参加、87団体訪問
- 2014年度：10名の大学生が10団体訪問・記事執筆



<東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト>

- 東日本大震災で津波による被害を受けた干潟、田んぼでの生物多様性保全に関わる調査研究（主催：認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン）へ、社員がボランティアとして参加し、調査研究のサポートを行う
- 被災地復興支援、生物多様性保全、社員の生物多様性保全への理解促進をめざす活動
- 2013年～累計：18名参加
- 2014年度：13名が5プロジェクトに参加



2. 「教育」の活動

「教育」の活動として、「出張授業」「理科教育支援」「花王教員フェローシップ」を展開しています。また、出張授業では、関連して教材提供も実施しています。

出張授業・教材提供

社員が講師となって学校を訪問し、出張授業「手洗い講座」「おそうじ講座」「環境講座」「UD 講座」を実施しています。事業とかかわりの深い分野で子ども達の生きる力の向上に貢献することをめざしています。

また、授業で使える教材も提供しています。「手洗い講座」、「おそうじ講座」、小学校 4 年生向け「いっしょにエコ日記」、中学校家庭科向け「環境のことを考えた快適な暮らし」があります。

<2014 年度>

- ・UD 講座の本格展開を開始
- ・出張授業 4 講座 計 235 校で実施、受講児童数は約 17,000 人、参加社員数約 1,200 人
- ・「手洗い講座」教材を 66 校・施設に、「おそうじ講座」教材を 15 校に、「いっしょにエコ日記」を 500 校に、家庭科教材を 159 校に提供



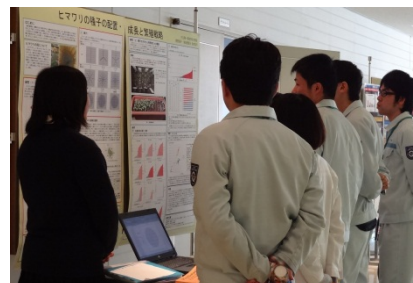
理科教育支援（JSEC・理科実験講座）

「JSEC」は、高校生のための科学と技術の自由研究を競うコンテスト（朝日新聞社・テレビ朝日主催）で、花王は 2005 年から協賛し、花王賞と花王特別奨励賞を贈呈しています。賞の選定にあたっては社内ですり審査を実施し、最終審査会で高校生のポスター発表を聞いた上で決定しています。また、事前審査の際の研究員からのコメントを高校生にフィードバックしています。

花王賞受賞校には、米国での国際大会への出場資格が与えられ、花王特別奨励賞受賞校には、花王の研究員との交流機会「スタディツアー」が贈られます。これまでの累計で 13 校に賞が贈られました。また、学会などで行なわれるイベントに協力し、社員による理科実験講座を実施しています。

<2014 年度>

- ・JSEC2013 で受賞した 2 校の生徒・教員を和歌山工場に招いて「スタディツアー」を開催
- ・JSEC2014 で花王賞と花王特別奨励賞を贈呈
- ・理科実験講座を 2 回実施、講師として社員計 7 名が参加



花王・教員フェローシップ

生物多様性の保全に向けて、資金と人を支援するプログラムです。環境教育の実践者である教員に参加いただくことで、子ども達や地域への広い波及効果を期待しています。

プログラムは、認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパンと協働で、教員に海外の野外調査プロジェクト（NGO アースウォッチ主催）へボランティアとして参加する機会を提供します。教員が現地で得た自らの体験や感動を、学校や地域での環境教育で活用いただいています。2004年からの累計で65プロジェクト、119名を支援しています。

<2014年の活動>

- ・5プロジェクトに10名の参加を支援
- ・活動報告会を花王社内にて開催（2014年10月18日）。参加者間で、環境教育の実践について情報を共有



3. 「コミュニティ」の活動

「コミュニティ」の活動として、「花王社会起業塾」「花王ファミリーコンサート」などを展開しています。また、花王の社会貢献活動の出発点でもある「情報のバリアフリー」の活動、「福祉施設製品寄贈」なども実施しています。

花王社会起業塾

社会課題解決に取り組む社会起業家の育成支援を通じて、持続可能な社会を次世代に引き継ぐための「環境づくりと人づくり」を行ない、また、社員と社会起業家との交流を通じて、社会課題への理解を深めるとともに「起業家精神」を社内に吹き込むことをめざしています。

プログラムは、NPO 法人 ETIC.（エティック）と協働し、「家族」を取り巻く社会課題をビジネスの手法で解決しようとする若手の社会起業家を支援しています。具体的には、事業開始直前直後の若手起業家を支援する「スタートアップ部門」と、スタートアップ部門を終了した事業実績のある起業家を支援する「イノベーション部門」があり、スタートアップ部門では NEC や電通などとも協力しています。

2010 年からこれまでの累計で 15 組を支援しました。

<2014 年の活動>

・スタートアップ部門で 3 組、イノベーション部門で 1 組を支援

①「障がいを持っていてもごきげんに笑って暮らせる社会をつくる」

伊藤文弥さん（認定特定非営利活動法人つくばアグリチャレンジ
副代表理事・農場長）

②「更年期を迎える女性の健康で豊かな人生をサポート」

永田京子さん（ちえぶら 代表）

③「『FindSitter』～地域のプライベートシッターをご家庭に～」

羽根田里志さん（FindSitter 代表）

④「子供たちを性トラブルに遭わせない家庭内教育プログラムの開発

と普及」 染矢明日香さん（特定非営利活動法人ピルコン 理事長）

・社会起業塾全体の価値の向上に向け、取り組みの価値を明文化した資料をリリース時に追加発信

・花王ホームページの改訂（顔が見えるページづくり）による情報発信強化

・関連部門との接点の機会をつくり、社員のべ 10 人が参加



花王ファミリーコンサート

事業場立地地域での地域貢献活動として、地域の方々に質の高い音楽に親しんでいただく機会を提供し、学校教育への支援もあわせて行なっています。

コンサートは、一流のアーティストを招聘し、事前準備や当日の運営を社員が担っています。チケット（1,000 円/1 枚）の収入は、全額地域の学校教育等へ寄付しています（1 公演につき 100 万円前後）。2002 年からこれまでに累計で 30 公演を開催し、来場者数は約 27,000 名となりました。



<2014 年の活動>

- ・2014 年 10 月 26 日、栃木県益子町にてヴァイオリニスト・千住真理子氏公演を開催。来場者 930 名、チケット収入を市貝町・益子町に寄付
- ・社員ボランティア 23 名が参加

その他の活動（コミュニティ）

<情報のバリアフリー>

- 障害の有無に関わらず誰もが豊かな生活をめざせるようバリアフリーの理解と共有をめざす活動
- 2014 年度：
 - バリアフリービデオ：障害のある方々の生活の不便さを伝え、理解と共有を図る内容で、総合学習等の教材として活用されている。寄贈 12 件
 - 点字シールと生活情報音声 CD の無償提供 171 件
 - 日本点字図書館発行の会員向け音声情報誌「ホームライフ」に生活情報を 3 回提供し、社員ボランティア 5 名が協力

<福祉施設への製品寄贈>

- 地域貢献と社会支援の一環として、花王製品を福祉施設へ寄贈
- 支援先は、社会福祉協議会と連携して選定、もしくは全国で展開している社会福祉施設（病児家族滞在施設「ファミリーハウス」、あしなが育英会運営の滞在施設、民間運営の子どものためのシェルターや自立援助ホームなど）

4. 社員参加型の活動

社員参加型の活動として、「花王グループピンクリボンキャンペーン」を実施しています。また、社員有志の寄付組織として「花王ハートポケット倶楽部」を運営するほか、社員ボランティアを推奨しています。

花王ハートポケット倶楽部

社員の社会参加のきっかけとすることを目的としたプログラムで、地域社会との信頼関係の構築もめざしています。

倶楽部の趣旨に賛同した社員が会員となり、給与の一部を拠出して基金として積み立て、NPO・NGO・市民団体への寄付を通じて社会的活動に役立てています。災害時は、緊急の資金援助も行ないます。倶楽部の運営は、会員の代表である運営委員が担っています。

事業場立地地域の市民活動を支援する「地域助成」を栃木・和歌山・茨城で実施し、2014年から大型助成「みらいポケット基金」で国際協力など規模の大きなプロジェクトを支援しています。また、社員がボランティアとして参加するプログラム（「絵本を届ける運動」「YMCA チャリティラン」など）も実施しています。

2004年からの累計で443団体を支援、7,380万円を寄付しています。2014年12月現在の会員数は2,614人です。

<2014年の活動>

- ・運営委員会14回開催、48団体を支援
- ・地域助成(栃木・和歌山・茨城)：17団体を助成。二次選考参加社員1,384名、助成先への応援メッセージ225件
- ・大型助成「みらいポケット基金」：6団体を助成
- ・ボランティア参加数：絵本を届ける運動180名、YMCAチャリティラン5名、広域避難者へのハンドケアボランティア4名
- ・活動視察やボランティア参加など、助成先と社員のコミュニケーション機会を増やし、社員の社会への感度を高めることと、社会との信頼関係の構築に寄与した
- ・活動紹介の社内発信の強化により会員数が増加



花王グループピンクリボンキャンペーン

花王グループ企業合同の社会貢献活動で、乳がんのみならず女性の健康を応援しています。『店頭』という花王グループの持つ強みを活かした啓発活動です。

この活動は、2007年に花王とカネボウ化粧品合同の社会貢献活動としてスタートしました。10～11月に、美容部員がピンクリボンバッジを着用し、化粧品店頭にご来店いただいたお客様に、乳がん早期発見の大切さを伝えるリーフレットをお渡ししています。これまでに日本のほか海外でも8カ国で活動を実施し、2007年からの累計リーフレット制作は687万枚となりました。

化粧品店頭での活動以外にも、社会に広く情報を発信するために特設サイトを運営したり、検診受診を後押しするアプリも提供しています。啓発活動に社員が参加するなど、独自の活動を行なっているグループ会社もあります。

<2014年の活動>

- ・10月～11月に化粧品店頭での活動を実施。日本、中国、香港、台湾に加え、新たにカネボウのタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピンで実施
- ・iPhone向け「笑顔つながる“ピンクリボンアプリ”」を開発、10月より運用開始
- ・カネボウで特定商品購入に応じて100円を認定NPO法人乳房健康研究会に寄付
- ・乳がんやピンクリボンについての理解を深めるため、社員向けにピンクリボンセミナーを開催



その他の活動（社員参加型の活動）

- 社員がコミュニティとかかわることを応援し、活動参加のきっかけとなるよう、情報の提供や、具体的な活動機会の提供を行なう
- 2014年度：
 - ・ボランティア情報サイト運営：社会貢献室で選定したボランティア情報、NPO情報など、計25件発信。社員による活動の報告を10件掲載。

5. メセナ支援

文化や芸術に関わる活動を通して、人々の豊かな生活文化の実現に貢献するために、活動支援を積極的に行なっています。

若手芸術家育成支援

- 次世代を担う芸術家育成の活動を支援
- 日本の音楽界の次世代を担う人材の発掘・育成を目的に、東京文化会館・読売新聞社・東京都とともに東京音楽コンクールを主催
- 各部門優勝者がオーケストラと共演してコンサートを開催するほか、入賞者には、単独公演の開催を含め、公演機会の提供など、東京文化会館が5年間バックアップを行なう
- 2014年度：第12回目となるコンクールを開催。ピアノ・弦楽・金管・声楽の4部門で、応募総数382名、入賞11名。



芸術文化活動支援

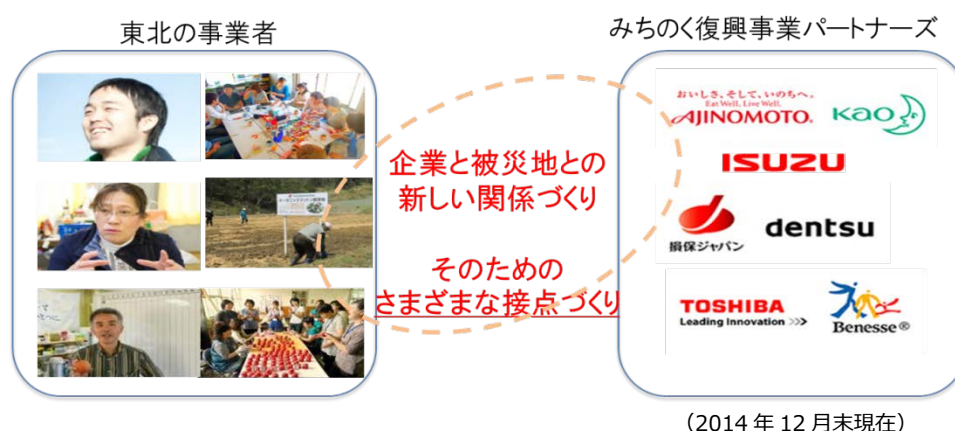
- 優れた芸術文化の発展と継承のために、国内の優秀な音楽・舞台公演と美術展開催を支援
- 2014年度：
 - 音楽公演協賛：東京交響楽団定期演奏会／
日本フィルハーモニー交響楽団／
東京フィルハーモニー交響楽団／
NHK 交響楽団定期演奏会・「第九」公演
 - 舞台公演協賛：新国立劇場 特別支援企業グループに参加
 - 美術展協賛：「オルセー美術館展」（読売新聞社主催）／「新印象派展」（日本経済新聞社主催）

6. 東日本大震災への対応

東日本大震災からの復興支援として、既存の社会貢献プログラムや花王のリソースを活かしながら NPO・企業・多様な組織と連携し、現地のニーズや課題に添って、「心のケア」と「自立的復興（産業復興）」を柱に活動しています。

みちのく復興事業パートナーズ

- NPO 法人 ETIC と企業 7 社が連携し、被災地で事業に取り組み、東北を支えていくリーダーたちをサポートする企業コンソーシアム
- 社員の力や企業リソースを活かした取り組みで、東北の事業の自立に貢献する活動を実施



- 2014 年度：
- みちのくサポーターズミーティング：東北の復興リーダーと、東北を応援したい企業社員との出会いの場を提供。3月1日開催、社員5名参加
- みちのく復興事業シンポジウム：東北の最新事情と、これからの企業の復興支援のあり方について考える機会を提供。3月14日開催、社員8名参加



その他の活動

- 花王復興応援市：「震災をいつまでも忘れない」という思いを込め、3月12日に茅場町本社で開催。商品購入およびメッセージカード送付を通じた東北の応援。社員290名参加
- 花王 食の衛生管理セミナー：花王プロフェッショナル・サービスによる食の衛生管理ノウハウを活かした支援。大船渡市で11月17日開催、2業者11名が参加



※その他、東北の新聞社3社による「スマイルとうほくプロジェクト」に協賛。花王グループ社員が花植え、仮設住宅訪問などを行ない、現地との交流を深めた

7. 災害支援

2014 年度の花王グループによる主な災害支援

災害	会社	支援内容
フィリピン台風	花王(株)	2013 年 11 月発生の台風ハイエン被災支援のためアボイデス基金に製品を寄贈
	花王 USA	American Red Cross に 41 万円相当の寄付および社員ボランティア協力
インドネシア水害	花王インドネシア化学	地域住民に 13 万円相当の寄付
	花王インドネシア	支援団体にボート 2 艘を提供、50 万円相当の製品寄贈および社員ボランティア協力
タイ チェンライ県地震	タイ花王	チェンライ県に 40 万円相当の製品寄贈と寄付および社員ボランティア協力
日本 平成 26 年 8 月豪雨	花王(株)	社会福祉法人中央共同募金会に 100 万円を寄付、福知山市、兵庫県、広島市に製品寄贈、および社員ボランティア協力
中国 雲南省地震	花王(株)	上海市慈善基金会に 500 万円を寄付
メキシコ ハリケーンオディール	キミ花王	支援団体に 27 万円相当の寄付および社員ボランティア協力
日本 長野県神城断層地震	花王(株)	長野県白馬村、小谷村に製品寄贈

8. 海外花王グループによる主な地域貢献活動

エリア	会社名	内容
中国	Kao (China) Holding Co., Ltd.	節水啓発活動実施、上海市慈善基金会に製品寄贈
	Kao Corporation Shanghai	工場周囲の清掃、工場見学
	Kao (China) Research and Development Center Co., Ltd.	ウォークイベント参加・協賛、デザインコンテスト参加・製品提供と協賛、小学生読書講演会・大学生向けキャリア教育に協力
	Kao (Hefei) Co., Ltd.	海岸清掃の実施、製品寄贈
	Kao Chemical Corporation Shanghai Co., Ltd.	道路や河川清掃・緑化活動の実施
	Kanebo Cosmetics (China) Co., Ltd.	四川地震被災地の養蚕業復興活動・大学生起業活動・女性起業支援バザーに寄付
香港	Kao (Hong Kong) Ltd.	WWF 自然保護啓発イベント協賛、香港公益金に製品寄贈
台湾	Kao (Taiwan) Corporation	海岸清掃の実施、支援を必要とする人へ製品寄贈、工場見学・オフィス訪問受け入れ
ベトナム	Kao Vietnam Co., Ltd.	子ども福祉支援としてクリスマスカード購入
フィリピン	Pilipinas Kao, Incorporated	高校生と技術専攻大学生への奨学金提供、工場近隣の小学校と高校の修繕に寄付・清掃やメンテナンスに参加、マングローブ植林の実施、海岸清掃の実施、地域医療受診機会を支援、大学の研究設備支援
タイ	Kao Industrial (Thailand) Co., Ltd. Kao Commercial (Thailand) Co., Ltd.	清掃活動の実施、清掃活動に製品を提供、化学・エンジニアリング専攻学生へ奨学金提供、子ども支援NPOへ製品寄贈、学校備品支援、学校トイレ建設に寄付、50周年記念・子ども支援のために製品寄贈、工場見学
	Kanebo Cosmetics (Thailand)	企業見学受け入れ
マレーシア	Kao (Malaysia) Sdn. Bhd.	児童養護施設・高齢者施設・チャリティーラン・大学に製品寄贈
	Kanebo Cosmetics Malaysia Sdn. Bhd.	ピンクリボンメイクアップ講座の実施
	Fatty Chemical (Malaysia) Sdn. Bhd.ほか	文化交流イベントに寄付、スポーツ・環境活動支援のため製品寄贈、高齢者施設・障害児施設・児童養護施設との交流と製品等寄贈、植樹活動の実施、障害児絵画購入、病院とコラボした献血キャンペーン、防災活動に寄付
シンガポール	Kao Singapore Pte. Ltd.	文化教育団体等へ寄付

エリア	会社名	内容
インドネシア	PT Kao Indonesia	幼稚園建設や地域祭事に協力・寄付、工場見学
	PT. Kao Indonesia Chemicals	地域セキュリティシステムに寄付、犠牲祭に貧しい人や高齢者施設に食糧支援、近隣の住民に工場内の清潔な水を提供、ゴミ回収用の中古タイヤ寄贈、インターンや見学受け入れ
オーストラリア	Kao Australia Pty. Limited	福祉や教育、スポーツや難病支援等で製品寄贈
カナダ	Kao Canada Inc.	病院や福祉団体に製品寄贈、スポーツや難病支援等で寄付
アメリカ	Kao USA Inc.	地域団体等へ寄付、ユナイテッドウェイ支援、地域の芸術支援、恵まれない子どもの支援、ピンクリボン啓発活動や早産防止研究支援で社員が協力し製品や寄付金を提供、小学校での読み書きメンター、清掃活動の実施、工場見学受け入れ
	Kao Specialties Americas LLC	献血、清掃活動、学校教育・ユナイテッドウェイ・障害児スポーツ等の支援に社員が協力、若年性糖尿病研究や乳がん啓発活動に社員が協力し寄付金提供、福祉団体支援で寄付や物品寄贈
メキシコ	Quimi-Kao, S.A. de C.V.	清掃活動の実施、介護施設や福祉団体支援、学校と介護施設のペインティング、貧しい子どもたちにおもちゃ支援、病院へ寄付、奨学金提供、工場見学受け入れ
ロシア	Kanebo Cosmetics Rus LLC	文化活動に製品寄贈
ドイツ	Kao Germany GmbH	子ども支援団体や環境教育に寄付
	Kao Chemicals GmbH	スポーツ・地域の伝統文化・学校・障害者雇用等に寄付、市冊子発行支援で寄付、工場見学受け入れ
フランス	Kao France SARL	障害者雇用支援に寄付、福祉団体に製品寄贈
スペイン	Kao Corporation S.A.	市議会冊子発行支援、市民団体・伝統音楽・貧困家庭支援に寄付